

環境に配慮した活動

環境に配慮したサプライチェーンマネジメント

4月に北は岩手県、南は長崎県の遠方より307社、374名の購買先様にご参集頂き、『第3回調達方針説明会』を開催しました。

今回（2009年度）は、『競争力のある原価構築・納期の厳守・不適合撲滅』をキーワードに当社の業績見通し・受注動向・発注額の推移などの説明を実施しました。情報をオープンにすることにより各購買先様における「ムリ・ムラ・ムダ」を排除し、計画的かつ効率的な生産及び環境へ配慮した取り組みが行えるものと考えています。

更に、納期遵守率・不適合発生率などによる総合評価で、優良メーカーへの表彰を行っています。



写真左から： 会場の様子①あいさつ、②質疑応答、メーカー表彰

海外メーカーにつきましても、現地を定期的に訪問し、品質改善活動をおこなっています。現在に至るまでに紆余曲折はありましたが、納入品の不適合発生件数も、定期訪問開始当初は約8割が不具合であったものが、1/100件になり、1/1000件にまで改善されたことから、改善が顕著に図られたメーカーに対して表彰を行いました。



写真 左：現地での改善活動の様子、 右：海外メーカーによる太田工場見学

また、表彰のための来日に併せて太田工場を訪問され、自社の製品がどのような形で製品として出来上がるかを熱心に見学され、生産管理や製造現場の管理、技術センターとの意見交換など、僅かな時間ながら、良いコミュニケーションを図る事ができました。